

# 教育法制研究室



Q1: どんな学生でしたか?

お祭り好き。軟派に見えて実は硬派?! 中高時代は部活に明け暮れていました。

大学時代は寺子屋のような塾の仕事にエネルギーを注いでいました。福岡地区の学園祭連合会(現在も続いている福祭連)の初代呼びかけ人(九大祭全学実行委員会渉外局長)。

Q2: なぜ現在の職を選んだのですか?

九州大学に合格した時に、傾倒していた先生から「これからは他人のために学問をしてください」というメッセージをもらい、他人のために学問するとはどういうことなのか、その意味を考え続けています。Cf.『職業としての学問』(マックス・ウェーバー、岩波文庫)

Q3: もし現在の職に就いていなかったら何をしていますか?

24時間働いて過労死していたか、雪山で遭難しているような気がします。

Q4: どんな研究を行っていますか?(そのきっかけは?)

メインテーマは校長人事研究です。学校の雰囲気は校長(リーダー)次第で大きく左右され、養成や研修も含めそのあり方を模索しています(きっかけは、「反面教師」よろしく、いわば「反面校長」です。素敵な校長に出会っていたら別のテーマになっていたかも…)。

Q5: 将来的にどういう研究をしていく予定ですか?

アイデアは数多ありますが、残された人生の限られた時間という制約の中で、何を選び取るかは未定です。いずれにせよ、「学際」と「発信」がキーワードになると思います。これまでの学問領域の枠組みをリストラクチャリングしていくために積極的に異分野交流を図り、また翻訳・紹介型ではなく、「新たな知」を国内外に発信していく研究スタイルこそ社会に貢献すると考えています。ネットの活用も模索中。

Q6: 研究課題はどのように抽出しているのですか?

常に情報の収集と整理を行い、アンテナを張り巡らすことにより、研究すべきテーマは自然と集まってきます。テーマに事欠くことはありませんが、それを実証するための研究方法論の構築やその作業時間の確保が課題です。

Q7: 研究職(教授・准教授)に最も必要なものは何ですか?

「教授」「講師」といった職名からも窺えますように、大学に在籍する研究者は教育職でもありますので、次世代(後進)を育てることを厭う人は向いていないと思います。研究だけを考えれば『遠き落日』の野口英雄博士は理想的なのでしょうが、とりわけ教育学の研究者には社会とのコミュニケーションがとれるバランス感覚も求められると思います。

Q8: 大学の教授(准教授)がもつ影響力はどのようなものですか? また、どのくらいですか?

本人が思っている以上に影響力の大きい側面と、本人が思っているほどは影響していない面とがあります。学校の教師がいなければ公教育は成り立ちませんが、教育学者がいなくとも公教育活動は一見わかりなく営まれるでしょう。ただ、今回の原子力発電の問題に代表されますように専門家と呼ばれる職業の社会的責任はとても重いものがあります。

Q9: もし自分が総理大臣だったら、どんな政策を通しますか?(教育分野でも、その他でも)

相続税の増税。う〜ん。なるつもりがないので…。

Q10: やりがいを感じるのはどんな時ですか?

教育は「他人の夢を応援すること」と思っていますので、院生がレフェリー論文や博士論文を書けたり、就職できたり、学生が採用試験にパスしたり…、小さくても一つ一つの夢が叶ったとき、それぞれの人生に微力ながら関わっていることにやりがいを感じます。

Q11: 現在の職で辛いと思うときはありますか? また、それはどんな時ですか?

もどかしいことはあってもつらいと思うことはありません。講義をして、研究をして、会議をして、講演をして、プロジェクトを立ち上げ、本を書いて、国内外を飛び回って…、毎日がルーティンワークでないので、いそいそけどとても楽しい仕事です。

Q12: 授業中に寝てしまう学生もいるかと思いますが、どう思いますか?

教授陣が何十年もかけて集めた情報や知識や知恵を、わずか90分間座っているだけで入手できる貴重な機会なので寝てしまうなんてもったいないなあとは思いますが、学生時代は私もサボってばかりでした。ちよっぴり後悔しています。

Q13: 休みの日はどのように過ごされますか?

学生時代から暇さえあれば新聞の切り抜きをしていました(アナログ)。最近はPC内の写真などデジタル情報の整理も。「記録と記憶を残す」ことをモットーにしています。

Q14: これまでの人生で一番の大ニュースは何ですか?

伴侶との交際開始。

Q15: 高校生(大学生)へのメッセージをお願いします。

「なりたいもの」ほど、すぐにはなれないので、その数多ある時間を毎日少しずつでもなりたいものに近づくために投資してください。きっと道は開けます。

## 元兼 正浩 准教授

- 主な研究テーマ: 1 教職員人事行政研究  
2 校長職の法社会学研究  
3 自治体教育政策研究  
4 学校経営コンサルティング  
5 スクールリーダー教育

主な著書: 『次世代スクールリーダーの条件』

